平成二十八年度

厳か盛大に斎行―

願成就の祈請が執行され 国から寄せられた信徒の諸 た五月八日、多数のご来賓、 は、さつきの好天に恵まれ 大神様の御神威の発揚と全 に於いて厳か盛大に斎行。 般信徒列席のもと御神殿 大和教本廳春季例大祭

輝彦祭典委員長の開催挨 開式の宣言。はじめに光永 \mathcal{O} 先ず教祖様によって例大祭 役員、信者等が参列する 拶 鳴らされたあと典儀により 開始を告げる大太鼓が があり、このあと来賓、 儀式は午前十時五十分、

なか斎主祭員が入場。

礼に始まり、 ŋ の祝詞を奏上すると共に護 読み上げられて、一人ひと より護摩木が次々に投ぜら 燃えさかる炎に斎員の手に 斎主教祖様が春季例大祭 祓の儀が修せられ、 によって祓詞の奏上、 午前十一 祈祷を厳修。護摩壇の 祈願者全員の名前が 時、 の奏上、大麻やこの参上、大麻神・紋子嗣祖様

続いて

されました。

このあと斎主教祖様、

らの更なる復興の祈請がな 地で発生した様々な災害か

勤勉、

正直、

誠実、 辛

れた善良さ、

抱

強さ、 愛や

信頼と思いやり、

優しさや

大震災をはじめ、

全国

《発行》 宗教法人 大和教本廳 〒985-0053宮城県塩釜市南町6-5

第五十七号

広報部 仙台市青葉区小田原5-1-53 有限会社 エイブル・フォー 1部 50円

TEL.022-362-1392 FAX.022-362-2991

春 季例大祭教祖様御歌

東日本

立たれ、「我が国民は並外

続いて教祖様がご挨拶に

参列者代表の順にて玉串を 奉仕者代表、地区代表、 任役員、来賓、信徒会役員、

奉奠、斎主一拝の礼をもつ

れ来たりしその尊い精神を る。長き歳月に亘り培わ 界に類を見ぬ程の優れし美 労り、質素倹約等々、世

徳を持ち併す国民性であ

誰しも失う事の無き様、

して子孫に受け継ぎ伝え 何物にも代え難い宝と心 て本儀式の部を終了。

混迷の 世に立ち向かう 国になる

剛き精神 優るもの無し

心をぞ 磨き清めて 杖となるらん 世の中を

万難を 振るい起こさん 排す力量 試さるる 利他の精神

参列者にご挨拶される教祖様



護摩祈祷を厳修

衆議院議員伊藤信太郎様ご祝辞 行かねばなるまい。」

を移して直会を開催。 終了しました。 例大祭はとどこうりなく れ、午後三時四十五分、 会などがなごやかに行わ と演芸やカラオケ、抽選 来賓による乾杯発声の 述べられました。 このあと修練道場に場 あ



玉串を奉奠する責任役員



お祓いを受ける参列者の皆様

定められた呼称

通

式に移り、

教祖様になら

をもって施餓鬼塔婆供

れた茅の輪をくぐる儀

次に修練道場内に設

奠を執り行

いました。

代表の順にて玉串の奉 一教祖様を始め役員、

(※大和教本廳は、

則 称

大和 神 社 呼称変更について

員 会 を 開 催

祈請する「大和教夏越大残る半年間の無事息災を

や罪汚れを大神様の大御のうちに犯して来た過ち

施

餓

鬼

塔

婆

知らず

知

威によって祓い清め、

本廳修錬道場において斎行。

大和教本廳

0

霊の安寧を祈る

を斎

去る六月三十日、

行われました。 おいて役員会を開催し、「大和教本廳」の呼称を 大和神社」に変更する事案について協議が執り 去る九月四日午前十時より、 大和教本廳に

 \mathcal{O}

礼のあと紋子嗣祖様に

午前十一

時、斎主一拝

あった本事案は、 もって取り止めることとなりました。 その結果、 本年十月十五日呼称変更予定で 出席役員多数による同意を

称は、これまでその御教来た大和教本廳という呼 切に守り続けて行くと共 共末永く保積謙光開祖様 数を占めました。 行きたい、との意見が多 自らが命名した呼称を大 広く定着しており、今後 して地域内外においても て来た幾多の信徒に、そ って信仰の道を歩んで のもとに集い寄り添っ 年に亘って用いられて を受けて以 大和御教えの和心を

おおはらえ

12月28日 29日 30日 31日 午前の部 11時執行 午後の部 3時執行

◇しらずしらず犯した罪や心身の穢れを祓い 清々しく新年を迎えましょう

詞を奏上。

lを奏上。続いて参列者 |教祖様が夏越大祓の祝

同による六根清

大

本

が執り行

われると、

教

る祈願者芳名簿の読み上祓詞の奉唱、又斎員によ

げもなされ、このあと斎

来た呼称への愛着がこの

呼称に決定致し

で あり、 :宗教法人「大和教」です) 登記上の正式名

はらえ

する人は、千歳の生命延ぶい「水無月の、夏越の祓え

おお

唱え詞を奉唱しながら

茅の輪神事も執行

の一時を過ごして夏越大祓 全員で三度茅の輪をくぐ と言うなり」という夏越

このあと和やかな直

病魔退散を祈念致

全てをとどこうりなく

ごしの

行われました。 六月二十五日に 上野俊雄邸) . 月二十六日に山形支部 越大祓の神事 にても執 仙台教会、

教祖様を先頭に・・・

いて斎主

役員、参列

斎

こうりなく終了致

行されました。 練道場に於いて 年も去る八月十一日、 餓鬼塔婆供養祭」は、本けて執り行われている「施 養祭で、 例年お盆に先 重要な供 が

水子と幼子、そして万物 祖をはじめ、 読み上げがなされ、ご先 神言を奉唱。 主教祖様が降霊の儀、ご 大麻の祓いに続いて、 嗣祖様による祓詞の奏上、 物が所せましと捧げられ 飲み物などの様々なお供 られた料理、果物、お菓子、 婆供養祭に向けて数日前 れないほどの大塔婆 たなか儀式を執行。紋子 から準備し心を込めて作 尺塔婆)、生花、施餓鬼塔 祭員による供養芳名簿の 供養の誠が捧げられま 切の霊に対し、心から 祭壇の両側には数えき 次に斎主と 有縁無縁、

霊への偲び歌が奏上され、が花玉串を奉奠、更に諸 の儀、斎主拝礼の儀 参列者一同工教祖様をは 更に諸

塔婆供養祭の総てをとど 場において直会を執り い、これをもって施 祭の神事を無事終了。 このあと、 再び修 L 餓 練 鬼 行道

臨

大黒神様御降

:• 恵比

尊いお言葉を拝戴

れました。 廳修練道場に於いて斎行さ 祭は、去る六月二十三日、万 更なる御力をお授けいただ 利益をお授けしておられま 商売繁盛をはじめ数々のご る大黒神、恵比須神様は、 すが、その御神徳をたたえ、 霊供養祭終了後、大和教本 くための大黒神・恵比須神 大和教本廳に祀られてい

そのあと斎主教祖様が大黒 奏上すると共に祭員によっ 神・恵比須神祭の祝詞を て祈願芳名簿の読み上げを により修祓が執り行われ、 儀式は先ず紋子嗣祖様

祖

൱

教

え

葉を拝戴致しました。 き、それぞれ数々の尊いお言 はじめに祓戸大神様、次に 大黒神様、恵比須神様と続 御降臨の儀が修せられ、 続いて御神託拝戴のため

御降臨にあたっては、参列者 られました。なお、大黒様の もって、めでたく踊りおさめ 舞いが神人和楽の所作を 黒舞いの唄に合わせて、教祖 込んだ舞い込んだナー」の大 子と一サァーサァサァー舞い 様に大黒神様御降臨の大黒 人ひとりの願いごとやお伺 次に、参列者全員の手拍

平成28年(2016年)11月

いごとに尊いお言葉をもって 神祭の儀式をとどこうりな 応えられ、大黒神、 く終了致しました。 恵比須



紋子嗣祖様ご引率のもと

厳かに祝詞奏上

教祖様・



大黒舞いが踊りおさめられる

[3]

の行程で実地されました。 祖様と共に|泊(車中泊)二日 拝は今年も教祖様・紋子嗣 呼ばれ、「行の山」「浄の山」と して知られる出羽三山への登 七月十五日午後十時半本 古くから「羽黒修験道」と

ここで山形支部の参加者も 前三時、月山八合目に到着。 参加者が同乗、翌十六日午 廳を出発、途中仙台駅前で

ちに下山感謝奉告祭を執行

して、今年の出羽三山登拝を

時三十分全員無事到着。直

し、参拝祈願を執行した後、

一同帰路に。本廳には午後八

終えました。

聖地巡拝

中の宮において最後の準備!

を続け、午前八時、月山神社 らしい晴天に恵まれての登拝 ことがないというほどの素晴 月山中の宮、九合目を経て、 祓いを受けると登拝を開始。 教祖様もこれまで経験した 合流し、全員が教祖様のお に登頂して参拝祈願。

の中心とも言うべき羽黒山 山してバスに乗り、出羽三山 このあと直ちに月山を下

参拝祈祷を受け、教祖様・ 神社を参拝し、全員で昇殿 沢を経て湯殿山神社に到着 紋子嗣祖様が大前に玉串を て一路湯殿山に向かい、千人 奉奠。このあと再びバスに乗っ 山 形 支 部 山形支部

役員会も行われる

学習会」を開催

り・届く供養」の正しい実 め方ついて、信徒からの様々 行・実践のための基本の進 時より上野俊雄宅におい 部長)は、十月十四日午後七 し学習会を開催。「届く祈 て、講師に教祖様をお招き (渋谷みゆき支



頂上の月山神社をめざして



登頂を無事終了

見事なご来光を拝して

上げ、夜八時半過ぎまで熱 な悩みや問題を例題に取り のこもった学習会を実施。

年始の行事予定、来年度の活 ました。 動計画について協議が行われ 支部役員会」が開かれ、年末 また、学習会終了後、「山形



心に聞き入る山形支部の皆さった。



山形支部 「役員会」

講師に教祖様・光永輝彦責任役員

大和教本廳

を受けるかたちで一日

ての基本的なお話しをさ

参加者の質問

厄払 開運

り・届く供養」につい

をお務めになり

「届く

第二部は、

教祖

様が講

12月21日(水)・冬至の日 午後7時 御祈祷執行

◇来たる一年間の厄難を祓い除け 開運をお祈りいたします。

教 本

和

興味深い具体例を交えて

わっていくべきか、

数々の

どのように社会と関

学習会を修練道場に於い 三山登拝安全祈願祭終了 七月十日、 本年第二回目となる 月次祭及び

て生涯現役」というテーマ 役員が「社会と関わっ 第一部は、 長寿化の時代を迎え 何に生きがいを求 光永輝彦青

> の地道 が大切です」と述べられ、 の教えをしつかりと守り、 神様(大和御祖大神様) であり。そのためには祖 て行くことが幸福への近道 ました。 有意義に学習会を終了し 層の心みがきに励むこと な信仰活動を重ね



心にメモをとり・・・・・

神道豆知識

会 い とは ?

さて、 一では、 行 今回 事の後でいつ の神道豆知

事のひとつです。 が、れっきとした祭典行 達で宴会をすることです 戴し、祭りに関わった人 様にお供えした神饌を頂 いて学んでみましょう。 も行っている「直会」につ 直会は祭りの後に、

な作法であり「いただき う、神人和楽の考えがあ 音楽や芸を楽しむとい 事と同じものを戴き、 ます」の合図となります。 拝一拍手をするのが正式 あるとも言われています。 様と共に祝い、飲み、食べ、 いただく前には必ず 神様が召し上がった食 日本の祭りの原形で

飲んで食べて楽しむ、直会

節

である豆まきを執り行います。 福を招く「追儺(ついな=鬼払い)」の儀式 厄難から身を守るための神事と、邪鬼を祓い

日 時 平成二十九年二月三日 午前の部 午後の部 午後 五時 午前 十一時 金

場 所 大和教本廳 修練道場

「重ね餅」などが当たる抽選会を行います。 「金福大黒様」をはじめ「御神酒」「御懸魚」



編 集 後 記

その歴史の奥深さに圧 伊邪那美の神話の世界にくと、いつしか伊邪那岐、 されてしまいます。 たどり着き、あらためて る各行事の由来を調べて行 大和教で日々行われてい 倒

> り、そう考えさせられま ないか、本号の編集に当た かって発信してもいいのでは このことをもっと世界に向 で行われています。日本は 今も継承され、全国各地 行事が二十一世紀に入った 伝統、文化であるこれらの 日本の誇る素晴らし

> > 祭事·行

事

予 定 始

冬至星祭り

難を祓い除け、開運を招さまの星の巡りによる厄来たる年一年間のみな

十二月二十日 くお祭りです。

午後七時

年納め塔婆供養祭

あれば補いをなし、霊様年間の感謝の心をたむ と共に無事安心の年を重 を捧げます。 様に供養(霊和め)の誠ねられますよう、ご先祖 大切なご先祖様にこの

十二月二十三日午前十 ご祈祷執行

合同大祓

ちに犯した罪・穢れや不浄 午前十一時 午後三時 を祓って新年を迎えます。 十二月二十八日~三十 旦二回執行 一年間知らず知らずのう

歳日祭(元日祭)

ご祈祷を執行致します。 無事を願い、諸願成就の 月日 ご祈祷執行 新年を迎え一年の平安 午前十一

初月参り

一月五日 午前十

初月次祭

一月八日 午前十 ご祈祷執行